

働くよろこびと 社会参加の輪を広げよう

30号

# 静岡県シ連だより

磐田市シルバー人材センターの自主事業  
事務所移転を機に飛躍を目指す  
大好評のリサイクルショップ【マガモ】



リサイクルショップ「マガモ」は、ベビー子供用品、学校用品を主に取り扱っているリサイクルショップです。

営業時間 午前9時30分～午後4時00分 お休み 土日祝・年末年始

磐田市森岡150 磐田市シルバー人材センター内 電話 0538-39-5011

## 第30号 も く じ

第27回通常総会 .....	2
平成22年度の主な事業計画 .....	3
《役員研修会》	
いつまでもこの街で暮らすために .....	4
シルバー活動「リサイクルショップまがも」 .....	5
「スマイル・ワーク」 .....	5
SSPシニア就業支援プログラム事業 .....	6・7
SPシニアワークプログラム地域事業 .....	8

発 行 者

(社) 静岡県シルバー人材  
センター連合会

〒420-0851  
静岡県葵区黒金町5番地の1  
(静岡県勤労者総合会館)

TEL (054) 254-7240

FAX (054) 205-4540

E-mail shizuren@abelia.ocn.ne.jp

発行日 平成22年3月29日

発行人/大村 脩 平

編集人/遠藤 幸久

### 第27回通常総会

## 平成22年度事業計画・予算(4億6千万円)決定

### 前年度比 約7千万円減

第27回通常総会が、平成22年3月19日(金)午後1時から静岡労政会館で、正会員の各市町のシルバー人材センター、賛助会員の市町村関係者、連合会役員など約100人が出席のもとに開催いたしました。

森竹武人副会長(静岡市SC理事長)が開会あいさつ。議長には松浦喜久郎新居町SC理事長が選任され、全議案は原案どおり決定されました。桐田功副会長(掛川市SC理事長)が閉会を告げました。

大村脩平会長(伊東市SC理事長 写真下)

のあいさつ要旨

シルバー人材センターを取り巻く環境は、国及び静岡県が新たに導入した「事業仕分け」の結果、国が3分の1程度の縮減、県は不要との厳しい判定がくんだり、平成22年度予算においても、この結果が反映されシルバー人材センター補助金の削減となる厳しい状況となっています。

また、悪化している雇用情勢で新規会員は増加していますが、長引く景気の低迷により事業所を中心に契約金額が減少しています。そのため仕事がない会員が増加している極めて憂慮

すべき事態となっています。

こうした中、本連合会では当面する課題である「補助金削減への対応」「公益法人改革」「新会計基準の導入」等々はじめ「就業先の開拓」「新事業への取組み」さらに「会員の安全確保」等山積する課題に積極的に対応していきます。

そのためには、今まで以上に県内のシルバー人材センターと緊密な連携を図ることを念頭に、基本理念の「自主・自立、共働・共助」を原点とし、新しい運営基盤の再構築に努めます。

来賓祝辞は、

静岡県知事の代理 松下和生様 (写真①) から 知事のメッセージを読み上げていただきました。静岡労働局長の 新宅友穂様 (写真②) は「本省の係長の時代に



【高齢者等の雇用の安定等に関する法律(略称「高齢法」)を制定し、シルバー人材センターを誕生させた。シルバーというネーミングの記載では、地域で認知されている固有の名称であるとの信念で担当していた。」とのこと、その想いを熱く語られました。

① ②



### 役員選任



浜松市シルバー人材センター理事長の金森武夫様が理事に選任されました。任期は平成23年6月まで。

## 第27回通常総会

【自主・自立、共働・共助】ですこやかに

## 平成22年度の主な事業計画

## 基本方針

1. シルバー人材センター活性化計画の最終年度であることから会員の入会促進、就業機会の確保・拡大を図るため新規事業等に積極的に取り組む。
2. シルバー人材センターが新公益法人に円滑に移行できるように努める。
3. 「安全・適正就業推進基本計画」に基づき、就業中や就業途上の事故撲滅と適正就業を推進する。
4. 「福祉・家事援助事業推進基本計画」に基づき全センターが家事援助・子育て支援を事業化できるよう、会員向けの研修会等を開催する。

## 【交流研修事業】

会員相互の交流と一般の参加で

## 【しずおかシルバー人材フェスタ2010】

第13回経験交流大会

## 【自主・自立、共働・共助】ですこやかに

平成22年10月29日(金)

『裾野市民文化会館』

5. シルバー労働者派遣事業と無料職業紹介事業の取組み推進と充実を図る。
6. 緊急雇用創出事業の取組みを進める。

## 主要事業

## 【事業活性化事業】

- 新公益法人の移行に向けた情報収集と適切な移行事務処理の推進

## 【安全・適正就業推進事業】

- 安全・適正就業推進研修会の開催
- 刈払い機取扱者講習会の開催
- 安全パトロールの実施
- 重篤事故等の情報収集と分析・提供

## 【就業開拓推進事業】

- 県、市町等との連携のもと、福祉、文教、環境等での事業化による就業機会の拡充
- ホワイトカラー層の就業開拓の推進
- 民間事業所等組織的な業務発注の掘り起こし
- 広域事業の推進、県シ連一括受注契約の実施

## 【福祉・家事援助事業】

- 介護・家事援助サービスコーディネーター及びアドバイザーの継続活用
- 子育て支援事業の委託化の推進
- モデルセンターによる情報発信と普及促進
- 市町及び関係団体との連携
- 女性を中心とした新規会員の確保



## 【普及啓発事業】

- 会報「県シ連だより」の発行
- センター紹介パンフレットの作成
- 新聞等マスメディアを利用した広報の実施
- 全センター協調による普及促進
- ホームページ等の活用による普及促進
- 「特定公益増進法人」の普及及び寄付金の確保

## 【調査研究事業】

- センターの概要、職員名簿の作成、配布
- センター事業の実績調査
- 各種調査の実施、調査報告書の作成、配布

## 【シニアワークプログラム(SP)事業】

## 【シニア就業支援プログラム(SSP)事業】

## 【その他事業】

- 「無料職業紹介事業」の実施事業所の認定を受けた15法人センターへの支援未実施センターの事業化支援
- 「シルバー労働者派遣事業」
- 21年度実施した3センターの支援と今後の実施センターへの支援。

## 【個別相談事業】

- 県・全シ協と連携して各センターへの個別指導。



役立ちたいという意欲がものすごくあると感心しています。しかし、働く場所は限られています。こうした中、地域の社会に役に立ちたい方々を受け入れる組織こそがシルバー人

第27回通常総会に引き続き開催した役員研修会では、介護保健アドバイザーの成岡敏雄先生から「いつまでもこの街でくらすために」と題して、高齢者介護の現状と課題について①高齢者の現状 ②老化について ③介護に必要な3k ④上手な介護保険の使い方 ⑤地域でできること ⑥畳みの上で死にたいのお話をいただきました。この中で⑤の地域でできることについて次のようなお話がありました。『男性は定年で地域に戻ってきてても会社一筋の人生のため地域との繋がりが作れない。女性はそれなりに築いています。いろいろな機会でお会いする高齢者の皆様は働きたい・地域社会の

# 《役員研修会》 「いつまでもこの街で暮らすために」

介護保健アドバイザー 成岡敏雄先生

でした。しかし、シルバー人材センターの講習会に参加し、初めての方々との出会い、地域活動に踏み込み、人と人の結びつきの輪が広がっていています。

また、東海地震に備え、地域の防災・防犯にも大きな力となっていくことと確信いたしております。

さらに、介護予防・ボランティア活動においては血縁・地縁社会の再構築が不可欠です。ただその際は、個人の秘密を守ることが、個人情報保護法に基づく基本としては大切であります。食べることで健康に繋がる口腔ケアで歯を大切にし、P・P・K（ピン ピン コロリ）を目指して健康寿命を引き上げましょう。』  
清水弁丸出しの語り口に、参加者は引きづり込まれながらもシルバー人材センターの役割を再認識されたようです。

## 成岡氏のプロフィール

1948年生れ 清水市役所（当時）に入所  
長らく福祉行政を担当し、静岡市社協清水地区  
センター長、静岡市介護保険課長を歴任。

材センターだと思っ  
ています。  
先日、県シ連の子育  
て支援講座に講師と  
して向  
いたが、子育てとい  
うこともあり男性は  
僅か

## 退任役員へ表彰状・感謝状の授与

表彰状と感謝状が授与されました。  
会長、副会長役員としてご活躍くださりありがとうございました。



前(社)静岡県シルバー人材センター連合会長

**矢部良雄**さん

平成17年から 県連合会長・全国シルバー人材センター事業協会理事



前(社)静岡県シルバー人材センター連合会副会長

**前嶋文雄**さん

平成19年から 県連合会副会長

磐田市シルバー人材センターの自主事業  
**リサイクルシヨップ**  
**「マガモ」の運営**

磐田市シルバー人材センター（鈴木寛次理事長）のリサイクルバンク「マガモ」は、平成12年8月にスタートしたベビー子供用品、学校用品を主に取り扱っているリサイクルシヨップです。

子供服が中心で1着100円の物を多く取り揃えています。その他にも、マタニティ、学生服、おむつ、パジャマ、靴、靴下、おもちゃ、絵本、クーハン、未使用の贈答品などなど多種類用意してあります。

子育ての先輩がアットホームな雰囲気の中で、提供者と希望者の架け橋となり、地球にも子供にも優しい未来を目指して頑張っています。



掛川市シルバー人材センターの・・・  
**スマイル・ワーク活動**  
**愛称・シンボルマーク認定**（平成21年9月27日）

掛川市シルバー人材センター（桐田功理事長）では、市民にこれまで以上にセンターを知っていただき、誰からも親しまれる「愛称」と誰からも一目でわかる「シンボルマーク」を設定するねらいで平成21年6月に一般公募を行いました。掛川市にゆかりのある方々からそれぞれ60通余の応募があり、年齢は7歳から78歳までと幅広い年齢層からありました。

審査は学識経験者等をメンバーにした選考委員会で行い制定されました。

愛称は「スマイルワーク」・・・意味するところは真心と笑顔で仕事をするニコニコ集団です。

シンボルマークのSの意味するところは、スマイルのS、シルバーのS、端の丸はカゴブ、バックの三日月形は優しい天使の羽根と力持ちの大きな肩幅と包容力を表わしています。



9月の市総合福祉センター1周年（同時に本部事務所も移転しました）記念でイベントで他の優秀作品を含めて表彰しました。

今回の愛称・シンボルマークの募集を通してこれまでに市民の皆さんにシルバー人材センターを知っていただくよい機会となりました。

現在は、電話で《掛川市シルバー人材センタースマイルワークです。》と書いていますが、一日も早く認知され《掛川市スマイルワークです。》とか《スマイルワークです。》と言えるようシルバー人材センターの各種封筒から車輪は勿論、役員・会員の車にもマグネットシールを貼って普及に努めています。



# 平成22年度 シニア就業支援事業プログラム

(略称：SSP)

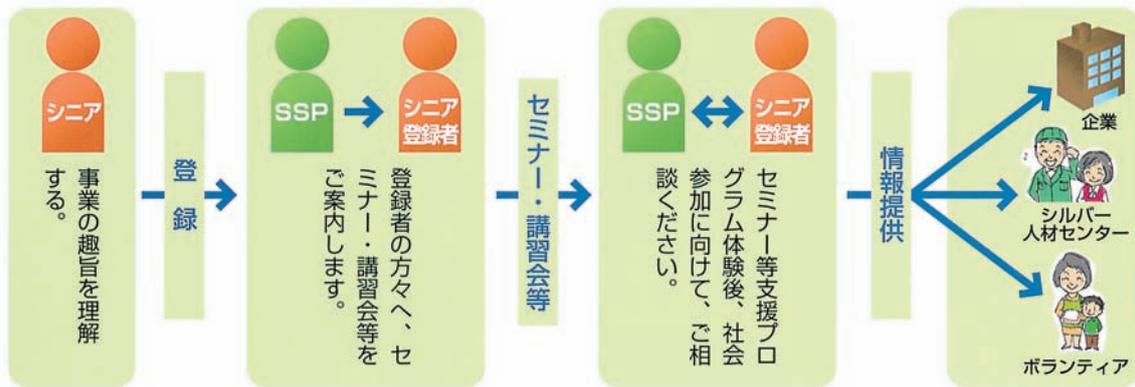
## 県シ連が厚生労働省からの受託内定

離職中または離職が予定されるシニアの職業経験、技術、技能等を登録していただき、希望される方々の就職、就業、ボランティア活動等による社会参加を支援します。

### 《事業ご案内》

- 55歳以上の対象シニアで希望する方は、まず登録していただきます
- 登録者にセミナー、講習会等の情報提供をします、希望者は無料で参加できます
- 企業、団体に求人ニーズ調査・開拓を実施し、ニーズの登録をお願いしていきます
- 希望する登録者の相談を受け企業、団体へ登録者の情報を提供します、就職希望者はハローワークにてマッチングを行います
- 地域の関係諸団体の協力を得て事業は推進されます

### 事業の流れ



### 支援プログラム体験は社会参加の第一歩！

SSP に登録して頂くと、社会参加を実現するためのセミナーや講習会などを無料で受けることが出来ます。

セミナー  
講習会等  
参加無料

### 企業・団体へ

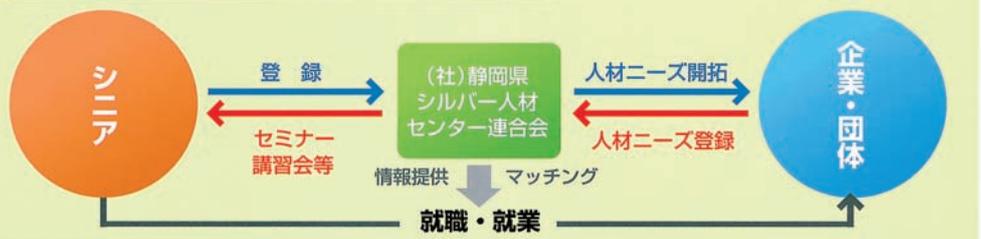
#### 事業の目的

シニアの方々の幅広い経験と技術・技能を、企業の業務推進パワーとして活用する。

#### シニア人材ニーズの登録を！

必要とする人材ニーズを登録してください。希望するシニアの方々の情報提供をします。

#### シニア就業支援プログラム事業の流れ



シルバー世代の豊かな  
経験を活用しませんか？



# シニア就業支援プログラム

## 個別相談会（東・中・西）で開催

県シ連では、2月25日に静岡市、2月26日に沼津市、3月10日に浜松市でSSP登録者をはじめ求職等を求めている55歳以上の方を対象にした個別相談会を開催しました。

県シ連では、2月25日に静岡市、2月26日に沼津市、3月10日に浜松市でSSP登録者をはじめ求職等を求めている55歳以上の方を対象にした個別相談会を開催しました。

談されたので一人あたり50分の時間では短かったようです。また、今回はボランティア活動などの相談コーナーの設置等より充実した運営を検討しています。

カウンセラーコーナーには職業

キャリア・カウンセラーの杉山孝先生、ハローワークコーナーでは、それぞれのハローワーク静岡・沼津・浜松の統括職業指導官が職業相談を実施し、また、シルバー人材センターコーナーでは事業相談等を実施しました。

3会場とも事前に時間予定を登録してありましたが、参加者が熱心に相



の介護事業・子育て等、新たな事業化への取組や講習会による「ヘルパー2級資格取得等」のPRをしました。

静岡新聞	東部(2/27)	中部(3/6)	西部(3/13)
参加事業所	10	11	7
参加者	200	154	124
SSP相談者	13	28	9
県社協	東部(1/23)	中部(1/16)	西部(1/9)
参加事業所	53	64	42
参加者	173	198	200
SSP相談者	5	3	7

県シ連のSSP事業スタッフでは、静岡新聞主催の「転職フェア」と、県社会福祉協議会（社会福祉人材センター）主催の「福祉のしごと就職フェア」に相談コーナーを設置し、SSPの活動説明と登録促進を行いました。また、シルバー人材センターでの就業体験やシニアワークプログラム地域事業（略称…SSP）講習会では、シルバー人材センター

SSP シニア就業支援プログラム

### 就職支援フェアに

静岡新聞主催「転職フェア」  
 県社会福祉協議会主催  
 「福祉のしごと就職フェア」

## SSP相談コーナー設置

## 魅力ある講座満載

受講料・テキスト代等の受講料は**無料**です。  
 受講資格：60歳代前半層の方で健康で働く意欲のある方

### 主な講習会の予定

- ホームヘルパー2級資格取得  
 (22~23日間 130時間以上) 11講座
- 家事・子育て支援等  
 (7日間 42時間) 8講座  
 (5日間 25時間) 1講座
- 〈新規〉ガイドヘルパー養成  
 (7日間 42時間程度) 2講座
- 造園緑化サービス  
 (7日間 42時間) 12講座  
 (5日間 25時間) 8講座
- フォークリフト運転資格取得  
 (6日間 42時間) 2講座
- マンション管理員  
 (7日間 42時間) 3講座
- 〈新規〉警備業務(自動車誘導員研修)  
 (7日間 42時間) 1講座
- 表具サービス  
 (7日間 42時間程度) 1講座
- 筆耕  
 (5~10日間 25時間程度) 1講座
- 農業支援等  
 (5日間 25時間程度) 1講座
- 〈新規〉会計補助  
 (7日間 42時間) 1講座

## 平成22年度シニア・ワークプログラム地域事業(S・P) 静岡県シルバー人材センター連合会が受託決定

シニア・ワークプログラム地域事業(S・P)は、平成19度から企画競争入札方式となり22年度も県シ連が4年連続で落札し、静岡労働局と委託契約を締結することになりました。

この事業は、60歳代前半層の方を中心に【技能・技術】を習得していただき、「雇用(就職)・就業」に結びつけることを目的としています。

※会場・開催時期は、県内の各シルバー人材センター等を会場にして5月から翌年の2月まで開催します。《詳しくは4月末までに決定し県シ連ホームページ及び、静岡・中日新聞に掲載します。》

※講座紹介パンフレット・受講申込書は募集計画決定次第、県内ハローワークと各地のシルバー人材センターに配備します。県シ連では、受講者皆様の就職・就業の

一助になるように、▽県内ハローワークとの連携を強化し、雇用(就職)促進を図ります。▽事業主団体・求人事業所等の協力を得て「合同面接会」を開催します。

また、講座の特徴として高齢者の就職・就業時における事故防止をねらいに《安全教育》や、講師陣が関係する業界の雇用状況等の情報提供などを取り入れています。

◀造園緑化サービス実習風景



ヘルパー2級講座実習風景▶